

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	多目的グラウンド整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	2	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	122生涯スポーツ・レクリエーションの振興	担当課室長	笠井真利子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	27年度に設計と整備工事を行うよう事業の進捗管理を適正に行う。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	平成27年度で終了のため、なし。
②①に基づく取り組み結果	実施設計及び工事完成		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	多目的グラウンド	意図(対象をどうするのか)	軽スポーツ等に参加する場所の整備し多くの市民にスポーツに親んでもらう。
②事務事業の概要	中沢地区に多目的グラウンドを設置する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	近年、グラウンドゴルフ等の軽スポーツが盛んなことから、多目的グラウンド利用の利用者は増加するものと予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	実施設計及び工事は27年度に完了した。					
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	算定根拠
	i	実施設計の完成	0	0	1	業務取得(完成を1とする)
	ii	整備工事の完了	0	0	1	業務取得(完成を1とする)
	iii					
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算	
事業費(千円)	1,632	30,364	金額(千円)	内容	0	
国支出金(千円)			5,324	実施設計		
県支出金(千円)			23,829	整備工事		
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	1,632	30,364			0	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	28年度の供用開始に伴い、利用者が円滑に利用できるよう、グラウンドの維持管理を行っていく必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	多目的グラウンドの整備が完了したため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	多目的グラウンドを整備するため実施設計及び工事を行う	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	実施設計及び工事を実施し多目的グラウンドを整備した。	30,921	36,245	当初	30,921	30,364	H26からの繰越	5,324
③達成状況	完了			H26⇒27繰越	5,324		現年分	25,040
				補正	0			
④未完了・非着手の理由		平成28年度への繰越額				0		

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	東野少年野球場改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	2	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	122生涯スポーツ・レクリエーションの振興	担当課室長	笠井真利子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成27年度のみのものであるため、前回の評価なし。	③平成28年度に取組む改革・改善内容	28年度中に整備工事を行うよう事業の進捗管理を適正に行うとともに、球場利用者への安全指導により、県営住宅入居者へ配慮を行う。
②①に基づく取組み結果	なし		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	東野少年野球場の防球ネット及びトイレ	意図(対象をどうするのか)	防球ネットの設置及びトイレの改修
②事務事業の概要	東野少年野球場隣接地に県営住宅が建設されることから、ボールが県営住宅に行くのを防ぐため防球ネットを設置するとともに、老朽化したトイレの改修を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	今後も宅地開発等によりスポーツ施設周辺に住宅等の建物が建設されるが予想されることから安全対策を講じていく必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	防球ネットの実施設計を行い、設計書が完成した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	実施設計の完成	0	0	1		業務取得(完成を1とする)
	ii	整備工事の完了	0	0	0		業務取得(完成を1とする)
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	0	1,393	金額(千円)	内容	41,407		
国支出金(千円)			1,393	実施設計			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	0	1,393			41,407		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	防球ネット設置までの間の、球場利用者への安全指導				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	隣接地に建設された県営住宅の入居者への配慮のため、必要な事業である。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	東野少年野球場改修するため実施設計を行う。	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	実施設計完了	3,748	3,633	当初	3,748	1,393	H26からの繰越	0
③達成状況	完了			H26⇒27繰越	0		現年分	1,393
④未完了・非着手の理由				補正	0			
				流用・充当	-115	平成28年度への繰越額		